



お子様の「歯とお口」の悩みをサポートする情報紙です

今回のテーマは…



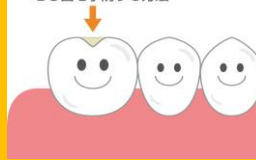
シーラントによるむし歯予防

です!!

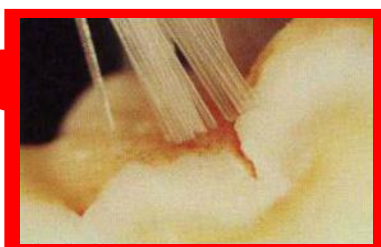
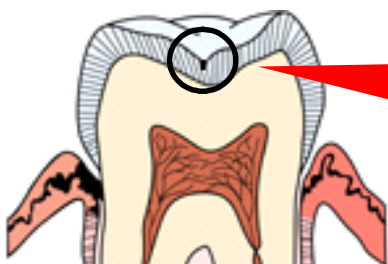
しょうかれっこうよぼうてんそく
「シーラント(小窩裂溝予防填塞)」とは、

奥歯の噛み合わせの溝などを、プラスチック(合成樹脂)で埋めてしまう処置のことで、
汚れ(プラーク)がたまりにくくなるので、むし歯予防の効果があります。

シーラントとは
歯のミゾを合成樹脂でシールして
むし歯を予防する方法



歯の断面図



溝の深い部分までは
歯ブラシの毛先が
届きません!



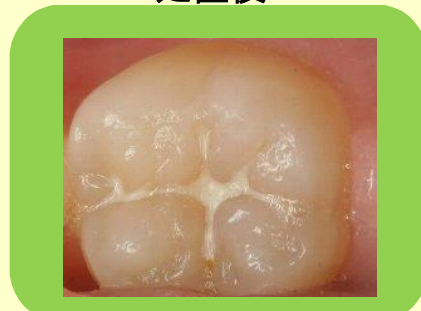
処置前



むし歯になっていない歯や、
初期むし歯(C0)に、歯を
削らずに行います。



処置後



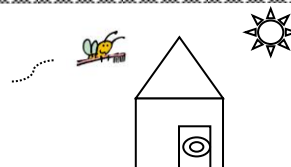
生えたばかりの歯はやわらかくむし歯になりやすいと言われています。永久歯の生え始めの
時期に是非このシーラントをお勧めします。特に ※6才臼歯(第一大臼歯)を守りましょう!

※6才臼歯とは、概ね6歳ぐらいから生えてくる、前から6番目の永久歯で、上下の歯の噛み合わせを決定すると言われています。

★★ 今月のピックアップ ★★



抜けた歯はどうする?



抜けた乳歯はどうするか? 国ごとに様々な言い伝えや風習があります。

日本を含めアジアでは、上の歯は縁の下に、下の歯は屋根へ投げるとい風習があります。

新しい歯は古い歯がある方向に伸びると信じられていたからです。

一方、米国、カナダ、イギリスなどでは眠るとき、枕の下に抜けた歯を入れておくと、

“歯の妖精”がやってきて歯とコインを交換してくれるという言い伝えがあるとか…

最近では抜けた乳歯を保管するケースなども沢山ありますね!

みなさんはどうされていますか?

